



第85期
営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879



代表取締役社長
野田 励

ノダグループは、 木を活用した心地よい空間づくりによって 社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ここに当社グループの第85期(2021年12月～2022年11月)の営業の概況等につきま
して、ご報告申し上げます。 2023年2月

営業の概況

住宅業界におきましては、持家の新設住宅着工戸数が前期比1割減と大幅に減少するなど、住宅需要は一部で弱含みとなりました。また、2021年春から続く木材の供給不足や価格高騰(ウッドショック)については、世界の木材需給緩和により輸入木材の価格が弱基調となるなど、需給逼迫のピークは過ぎ、国内在庫の増加や荷動きの低下が目立つようになりました。

このような事業環境において当社グループは、引き続き原材料の確保や製品の安定供給に努め、コストダウンや生産性向上に取り組むとともに、原材料等の急激なコストアップへの対応として建材製品の販売価格改定を行い収益の確保に努めました。合板製品については、原材料コストや輸入コストが上昇するなか、需給逼迫による先高感から国内相場は大幅に上昇いたしました。2022年6月以降は横ばいに転じました。また、建材製品のシェア確保や国産材(間伐材、未利用材等)の活用を推進するとともに、ビジョン2030「木の心地よさを住まいから様々な空間へ」の実現に向け、非住宅分野やリフォーム・リノベーション分野の市場開拓にも積極的に取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高81,012百万円(前期比25.4%増)、営業利益9,797百万円(同155.8%増)、経常利益10,332百万円

(同143.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,056百万円(同138.9%増)となりました。

住宅建材事業

「ビノイエ」「モードコレクト」など内装建材シリーズや、国産針葉樹合板とMDF(中質繊維板)の複合基材フロア「ラスティックフェイス リッチ・Jベース」、マンションなどリフォーム・リノベーション需要への対応として各種防音フロアなどの拡販に注力し、シェア確保に努めました。

また、バリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」や木造中規模物件用建築工法「BIG-MJシステム」を足掛かりに、非住宅分野や中規模物件の市場開拓、販売強化に取り組みました。

MDFについては、輸入チップや廃木材チップなど原材料の確保に努めながら、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用ハイベストウッド(HBW)や、資本業務提携先のIFI社(インドネシア)製の輸入MDFの安定供給、シェア確保に取り組みました。

なお、様々なコスト高騰が続く厳しい事業環境において、2021年6月より継続的に行っている販売価格の改定を、当期末も建材・MDF製品全般で実施し、収益の確保に努めました。この結果、住宅建材事業の売上高は45,330百万円(前期比12.0%増)、セグメント利益は2,547百万円(同10.3%減)となりました。

合板事業

国産針葉樹合板は、原木・接着剤の仕入コストや物流コストが上昇するなか、合板需給の著しい逼迫と先高感により、第2四半期までは販売価格の大幅な上昇が続きました。その後は、住宅着工の減少や中国産針葉樹合板の輸入急増により需給の逼迫は徐々に緩和し、6月以降販売価格は概ね横ばいに転じましたが、第4四半期には国内出荷量の減少により国内のメーカー在庫が増加傾向に転じたため、適正在庫水準と販売価格維持のため生産調整を開始いたしました。

輸入南洋材合板は、インドネシアやマレーシアにおける原木・人員不足により生産量が低迷し、産地価格が上昇いたしました。それに伴い、仕入コストは急激な円安もあり大幅な上昇が続く、販売量は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。こうしたなか、第2四半期までは国内の販売価格も上昇いたしました。第3四半期以降は、国内需要の低迷や港頭在庫の増加により先高感が解消したことから、販売価格は概ね横ばいとなり、採算性が期末にかけて低下いたしました。

この結果、合板事業の売上高は35,681百万円(前期比48.1%増)、セグメント利益は9,204百万円(同263.0%増)となりました。

配当について

当社の利益配分に関する基本方針は、業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うことです。また、内部留保金につきましては、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てていく考えです。なお、当期(2022年11月期)の期末配当金につきましては、配当の基本方針並びに当期の業績等を総合的に勘案し、1株につき30円(中間配当金を含め当期の年間配当金は1株につき60円、前期に比べ28円の増配)とさせていただきます。

対処すべき課題

2023年11月期の見通しにつきましては、足元で木材市況の混乱は解消しつつありますが、海外経済や為替相

場、長期化しているウクライナ問題など先行き不透明な状況が続いております。また、資材価格や電力料、物流費などの上昇によるコストアップの継続や、物価上昇による消費マインドの低下から住宅需要への悪影響が懸念されるなど、今後も厳しい事業環境が続くものと予想されます。

当社グループはこのような事業環境のもと、引き続き原材料の確保や製品の安定供給に努めながら、収益確保のため固定費のコントロールや生産性の向上、原材料の見直しなど各種コストダウンの徹底に取り組むとともに、企業努力で吸収しきれないコストアップ分については必要に応じて販売価格の改定を実施いたします。また、本年1月より先行発売、4月より本格発売する内装建材の新シリーズ「カナエル」の拡販に注力し、新規開拓や高付加価値製品の提案によるシェアアップや安定的な収益の確保に努めるとともに、国内人口の減少に伴う今後の新築住宅市場縮小に備え、引き続きリフォーム・リノベーション市場や公共・商業施設や高齢者施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進いたします。合板やMDFなど素材につきましても、安定供給を継続するため、引き続き需要動向に即した適切な生産・仕入に取り組めます。さらに、IT投資や教育・研修体制の整備により、業務の効率化や人材の育成、職場環境の改善に取り組むとともに、災害対策や安全管理の徹底など各種施策を引き続き実施して、人材確保や収益性改善、ひいては経営基盤の強化に努めます。

なお、これらと並行し、SDGsへの取り組みとして、植林により再生可能な木材資源である国産材を使用した国産針葉樹合板や、再生資源・未利用資源である廃木材のチップを使用したMDFを積極的に活用するとともに、健全な森林を整備するため、これらの原材料として間伐材を積極的に受け入れることで、引き続きCO₂の削減や持続可能な森林循環に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

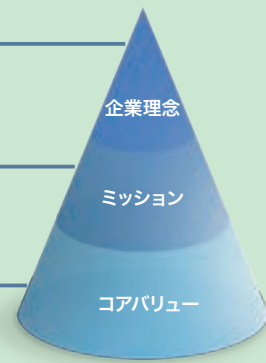
主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】

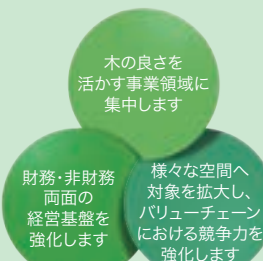
社会に果たすべき使命・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】

理念実現のための共通の価値観
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



【ビジョン2030実現のための経営戦略】



【理念実現のための基本姿勢】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

木をムダなく使う技術を追求して
持続可能な森林循環に貢献し、
環境にやさしいエコ素材を活用したノダ製品が、
SDGsの達成に貢献いたします。

私たちは、自らの事業を通じて、
SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、
グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを

目標11
「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標12
「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標13
「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

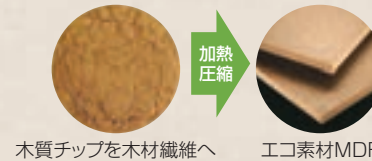
15 陸の豊かさも守ろう

目標15
「陸の豊かさも守ろう」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。

地震に強い
壁倍率
4.0取得



2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。



3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果もたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



4. 植林木を使用

森林資源保護のため、スラインダーSPシリーズMSタイプ(自然塗装)、国産材大井川杉シリーズは植林木のみを使用しています。良質な木材資源が急速に減少する中、将来における木材産業の発展・維持のために再生可能な植林木を使用しています。



～HBW(構造用ハイベストウッド)～

優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDFにより、より快適な住まいを実現できます。

3つの特徴

- ①耐震性、耐久性向上(繰り返し地震に強い)
- ②抜群の施工性(断熱材を均一に取り付けられ、気密性アップ)
- ③優れた環境性(地球にやさしいエコ素材)

快適な住まいを実現!

HBW

構造用ハイベストウッド

繰り返し
地震に
強い!



耐震性能
シミュレーションソフト
「wallstat」に対応



Canaeru カナエル

あなたらしさを新しくする

～自分らしい「住まい」をCanaeru～

住まいに対するさまざまな思いや願望が多様化する中で、「より快適で、オリジナリティのある住まいを追求したい」というご要望に応えられる内装建材の新シリーズです。

理想の住空間を創りあげるため、「Canaeru」は3つのマテリアルシリーズから成り立っています。

さまざまなライフスタイルに快適にマッチする「Cデザイン」、木材の温もりが溢れる「Rデザイン」、個性的な空間を演出する「Tデザイン」。

多様化するライフスタイルに合わせたテクスチャーとカラーで、あなたらしい空間をご提案。理想の暮らしをかなえます。



Canaeruブランドサイト
<https://www.noda-co.jp/canaeru/>



C-Design カジュアルコンフォート

ライフスタイルに合わせたカラー&テクスチャーが477通り。さらに、子供から高齢者まで誰もが扱いやすい機能性も充実。木のぬくもりに包まれたコンフォートな空間を約束します。



R-Design リゾートラスティック

独特の天然木の素材感を、化粧シートでリアルに表現。まるで田舎のコテージに訪れたような、素朴さを意味するラスティックな空間やリゾートテイストを求める方に。



T-Design トレンドトーン

マットなソリッドカラーや風合い豊かなグレイジュデザインが、インテリアの魅力を引き出すスタイリッシュな世界観を演出。北欧からブルックリンテイストまで個性的な空間へ。



～わたらしい家を「カナエル」のための12のキーワード～



No.11 Iron 今注目の鉄の風合いで個性を出す

ハンドルや引戸のレールなどに、あえて無骨な雰囲気を出すことで、ヴィンテージ感を楽しめる鉄の風合いが注目されています。重厚な素材感と手になじむ温かさを併せ持つ「南部鉄製ハンドル」や、海外の納屋や倉庫で使われている鋼製レールを活かした納屋風ドア「バーンスライド」が人気。



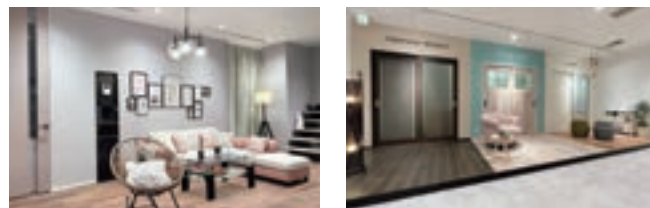
鉄の質感×引戸でおしゃれな納屋風

～ショールーム リニューアルオープン～

当社は2023年4月より内装建材シリーズを、新シリーズ「Canaeru (カナエル)」へ全面刷新することに伴い、全国ショールームをリニューアルオープンいたしました。

①カナエルパーク

お気に入りのインテリアスタイルを見つけることができます



②UDスタジオ

実際に見て、触れて、快適な住まいをイメージできます



③床材・建具コーディネートゾーン

色の組み合わせやドアデザインのコーディネートを確認できます



～ドラマ美術協力～

全国ネットで放映されたドラマに、耐凹み性能に優れ、節など自然な素材感を追求したデザインのMDF基材フロア「ネクシオハード ラスティック」、内装建材シリーズ「モードコレクト」の内装ドア等を美術協力しました。



フロア：ネクシオハード ラスティック ミディアム色 (RME)

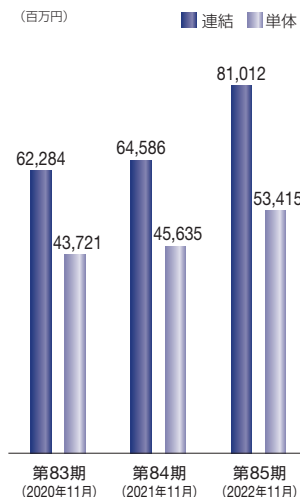


内装ドア：モードコレクト

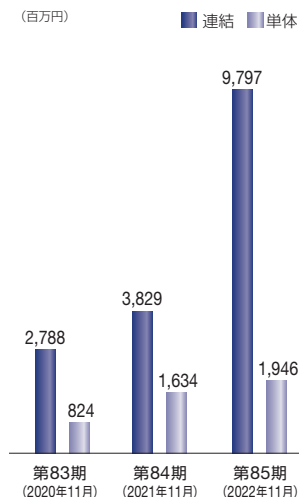
モノトーンデザイン | グレージュデザイン
ミッドナイトブルー色 (MB) | アッシュグレージュ色 (AG)

決算ハイライト

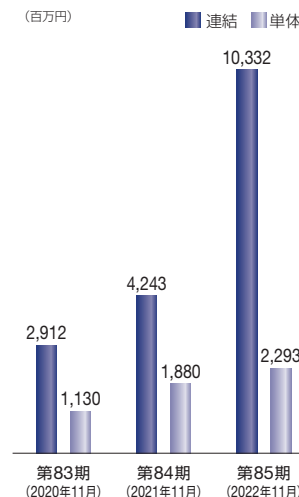
売上高



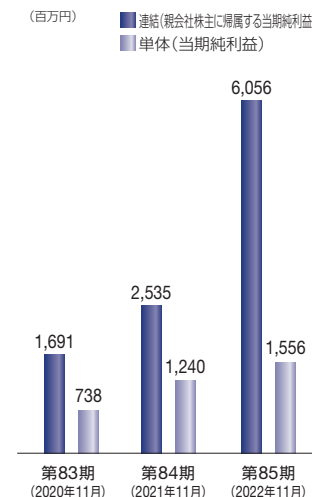
営業利益



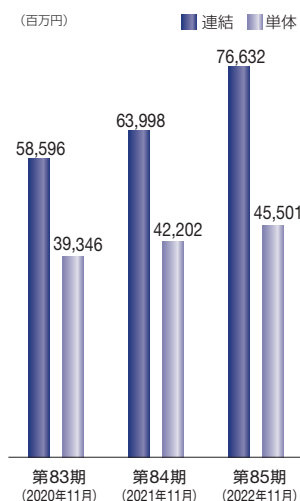
経常利益



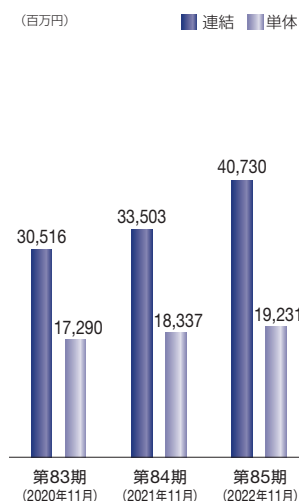
当期純利益



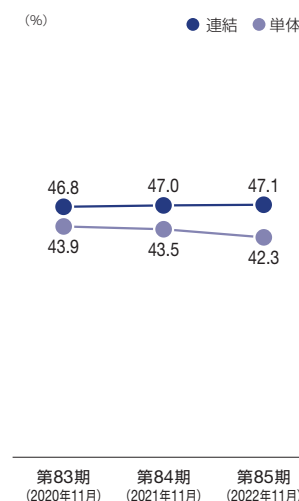
総資産



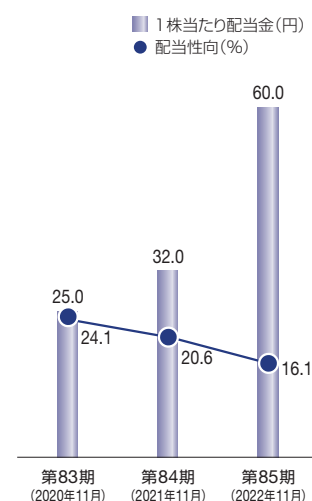
純資産



自己資本比率



年間配当金



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末 2022年11月30日現在	前期末 2021年11月30日現在
資産の部		
流動資産	51,394	40,877
固定資産	25,237	23,121
有形固定資産	14,779	13,692
無形固定資産	759	868
投資その他の資産	9,698	8,560
資産合計	76,632	63,998
負債の部		
流動負債	28,379	22,121
固定負債	7,521	8,373
負債合計	35,901	30,495
純資産の部		
株主資本	35,222	30,267
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	32,200	26,962
自己株式	△ 706	△ 423
その他の包括利益累計額	880	△ 186
非支配株主持分	4,627	3,422
純資産合計	40,730	33,503
負債純資産合計	76,632	63,998

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2021年12月1日から 2022年11月30日まで	前期 2020年12月1日から 2021年11月30日まで
売上高	81,012	64,586
売上原価	57,765	48,518
売上総利益	23,246	16,067
販売費及び一般管理費	13,448	12,238
営業利益	9,797	3,829
営業外収益	667	589
営業外費用	132	175
経常利益	10,332	4,243
特別利益	5	26
特別損失	175	170
税金等調整前当期純利益	10,162	4,099
法人税、住民税及び事業税	3,117	1,308
法人税等調整額	△ 164	△ 85
当期純利益	7,209	2,875
非支配株主に帰属する当期純利益	1,152	340
親会社株主に帰属する当期純利益	6,056	2,535

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2021年12月1日から 2022年11月30日まで	前期 2020年12月1日から 2021年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,847	6,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,493	△ 1,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,097	△ 1,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	1,246	3,731
現金及び現金同等物の期首残高	20,224	16,493
現金及び現金同等物の期末残高	21,471	20,224

会社概要 / 株式情報 (2022年11月30日現在)

会社の概況

会社名 株式会社ノダ
本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
設立 1938年1月8日
資本金 21億4,100万円
従業員数 1,029名(連結1,799名)

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、新潟、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

石巻合板工業株式会社 : 宮城県石巻市
アドン株式会社 : 静岡県静岡市
株式会社ナフィックス : 東京都台東区
アイピーエムサービス株式会社 : 宮城県石巻市
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社) : インドネシア

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社) : マレーシア

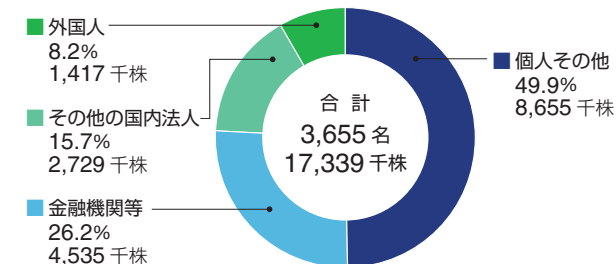
役員 (2023年2月27日現在)

代表取締役社長 野田 励 取締役 天岸知樹
代表取締役専務 野田四郎 社外取締役 塩坂 健
常務取締役 島村 明 社外取締役 高井章光
常務取締役 高津原健太郎 常勤監査役(社外) 浦田 進
常務取締役 辻村 力 常勤監査役 長谷川倫源
取締役 宮田佳明 社外監査役 三浦 悟
取締役 良知正啓 監査役 上原敏彦
取締役 新美 泰

株式の状況

発行可能株式総数 68,303千株
発行済株式の総数 17,339千株(自己株式1,283千株を含む)
株主数 3,655名

所有者別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日
そのほか必要ある場合は、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

●証券会社等へ当社株式をお預けいただいている場合

当社株式をお預けいただいている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。

●証券会社等へ当社株式をお預けいただいていない場合(特別口座)

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先/電話お問合せ先)

〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号

電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)

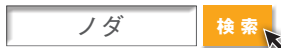
(※)トラストラウンジではお取り扱いできません。

なお、電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、上記の電話お問合せ先までお問合せ下さい。

ホームページ、公式SNSのご案内

当社のホームページにてシミュレーションツールやWebカタログ、新製品・おすすめ製品情報がご覧いただけます。また、当社の公式Facebook・Instagramでも様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.noda-co.jp>



環境保全のため、FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

ノダ ホームページ



公式Facebook



@NODA_corporation

公式Instagram



@noda_corporation

Facebook : <https://www.facebook.com/NODAcorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/